

## 平成22年度 学校評価(保護者アンケート)まとめ

### 評価基準

4：達成できた 3：ほぼ達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

質問 番号	評 価 項 目	評価平均	
		今年度	3カ年平均 (H19～H21)
1	学校の教育目標は保護者に伝えられ、理解されている。	3.3	2.6
2	生徒の学校での様子、教育内容が保護者等に伝わっている。	3.3	3.4
3	生徒のプライバシーや個人情報が守られている。	3.5	3.8
4	学校は必要な情報を、様々な形で外部に開示している。	3.2	1.9
5	学校は、生徒職員の安全管理に関して、施設・設備の点検や保全に当たっている。	3.3	3.6
6	教育課程・授業内容や時間割は、生徒の実態にあったものになっている。	3.1	2.9
7	時間割において、教科の時間数とその他の時間とのバランスがとれ、適切に運用されている。	3.1	3.1
8	教員は、授業方法を工夫・改善し、わかりやすい授業が行われている。	2.6	3.6
9	学習評価は、様々な観点から公正かつ公平に行われ、生徒の意欲を大切にしている。	3.3	3.4
10	前籍校や病院などの外部機関との連携が、適切にとれている。	3.5	3.0
11	家庭訪問や懇談等で家庭との相互理解が図られている。	3.4	3.4
12	学校からの通知や「学部だより」等が確実に届いている。	3.6	3.8
13	保護者の意見や要望が、学年やクラスの運営に生かされている。	3.0	3.1
14	校外学習は、十分に教育効果が伺える。	3.6	3.2
15	各種行事等（いきいき人材事業、福祉村まつり）への取り組みは、教育的意義が大きい。	4.0	3.4
16	生徒一人ひとりの実態に即した進路指導が行われている。	3.4	3.1
17	全教職員が共通した考えのもと、生徒・学校の実態に基づいた生徒指導が行われている。	2.8	3.0
18	生徒の不安や心配なことなどに対し、担任学年等で組織的な対応がなされている。	3.0	3.2
19	親子教師の会などの行事は、ふれあいや共感をもって行われている。	3.8	3.4
20	保健室が安心できる場所として機能し、生徒の健康教育、安全教育の中心的な役割を果たしている。	3.6	3.4
21	教室など学習環境は、落ち着いて利用できる雰囲気である。	3.4	3.6
22	図書館の利用について、適切な伝達活動が行われている。	3.4	2.9
23	学校だより、ホームページなど、学校内の情報が適切に配布・発信されている。	3.4	2.8

### 評価の低い項目に対する具体的な改善点

#### ○改善に向けての基本的な方向性

授業や生徒指導において、各教員の持ち味を生かしつつ、一人一人の児童・生徒の全体的な指導方針を作り上げる。

#### ○各分掌での具体的な取り組み

- ・ 学 部; 初期対応の期間について共通理解を図る。
- ・ 教 務; 教科会議の充実を図り、分かる授業づくりを考える機会にする。
- ・ 児生保; 実態に応じた生活指導をすすめる。
- ・ 研 究; 実態の多様化に向けての具体的な支援や授業のあり方についての研究を推進する。